TEAC

静止画/動画統合管理ソフトウェア

VIEWFILE Carna

PL-A7600 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

0312 IP0044B

この取扱説明書の使いかた

● インストール／設定される方は…

『はじめに』と『インストール』、および『ご参考』の『Carna Server の設定』、『Carna Browser の設定』をお読みください。

● とりあえずおおまかな使いかたを知りたい方は…

『Carna Browser のあらまし』と『Carna Viewer のあらまし』、『Carna Viewer の使いかた』をお読みください。

● さらに詳しい使いかたを知りたい方は…

『Carna Browser の詳細』と、『いろいろな表示』から『こんなこともできます』までをお読みください。

●本書に記載の各会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
●本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

必ずお読みください。

VIEWFILE Carnaで動画を再生するには、ULead Video Studio（DV-700に付属）をコンピュータにインストールする必要があります。

ULead Video Studioをインストールしてあるにもかかわらず、VIEWFILE Carnaで動画を再生できない場合（「メモリ不足です」というエラーが出る場合）は、ULead Video Studioを起動して、DV-700で記録したMPEG-2ファイルを一度再生してください。

上記の操作は一度行えば、以後は（コンピュータを再起動しても）ふたたび行う必要はありません。ULead Video Studioを起動しておく必要もありません。

もくじ

はじめに

概要 5
動作環境 6

インストール

インストールの手順 7
HASP キーを取り付ける 7
Firebird をインストールする 8
VIEWFILE Carna をインストールする 11
DirectX をインストールする 14

Carna Browser のあらまし

Browser ウィンドウ 15
検索のしかた 16

Carna Browser の詳細

検索項目の詳細 17
検査カードについて 18
患者情報を修正する 19
Browser の各メニュー 20

Carna Viewer のあらまし 21

Carna Viewer の使いかた 22

いろいろな表示

複数のシリーズウィンドウを表示する 24
シリーズウィンドウを分割する 25
便利なスクロール 26

画像を加工する

操作の適用範囲を選択する 27
ズームする 27
反転／回転する 28
色調を補正する 28

画像に注釈を追加する 29

患者情報を修正する 30

所見を作成する 31

こんなこともできます

ショートカットメニューを使う 33
モードツールを使う 34
画像をファイルに保存する 34
画像を印刷する 35
画像情報を隠す 35

ご参考

Carna Viewer の各メニュー 36
Carna Viewer のツールバー 39
所見テンプレート 40
診断名定義ファイル 42
Carna Server の設定 44
Carna Browser の設定 48
こんなときには 49

はじめに

概要

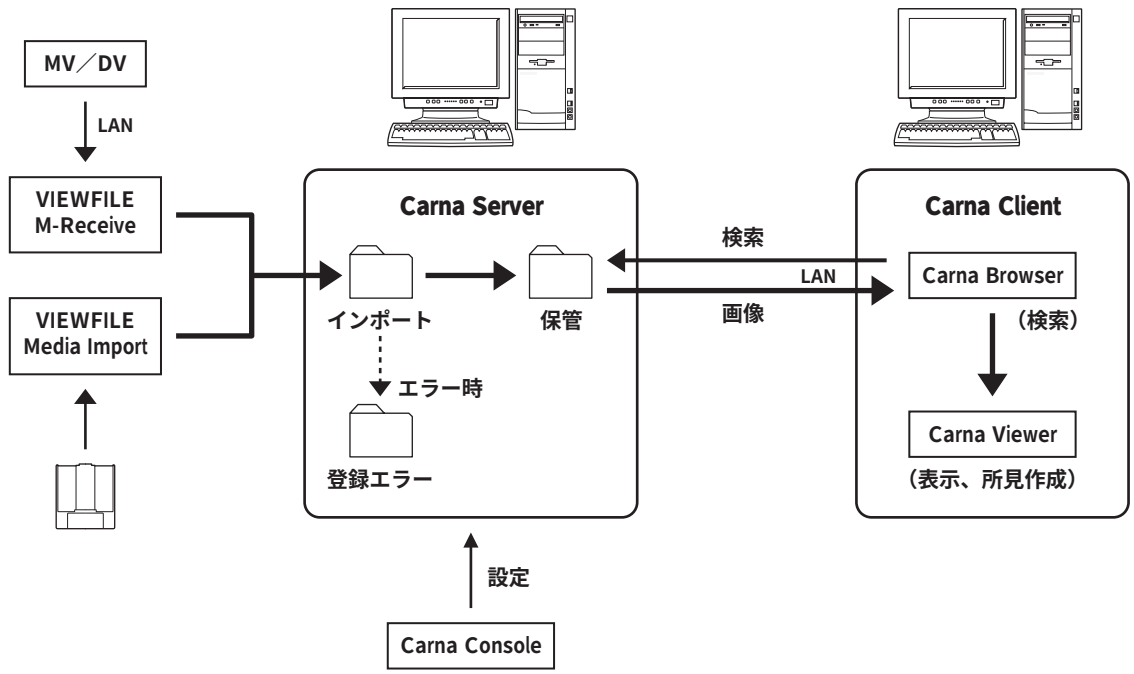
VIEWFILE Carnaは、ティアック製MVシリーズ、DVシリーズで記録した静止画ファイル、動画ファイルをPCで管理／閲覧するためのソフトウェアです。患者IDや検査日などにより診断画像を検索し、画像にコメントを追加したり、所見を作成することができます。

VIEWFILE Carnaは、Carna ServerとCarna Clientとの２つのソフトからなります。Carna Clientは、さらに、Carna BrowserとCarna Viewerとで構成されます。以下それぞれのソフトの役割を順を追って説明します。

Carna Serverは、MVシリーズ、DVシリーズで記録した画像ファイルをVIEWFILE M-Receive、またはVIEWFILE Media Importを経て、まずインポートフォルダに取り込みます。次にその画像ファイルを保管フォルダに移動し、患者情報・検査情報をデータベースに登録します。登録する際にファイル名が不正などのために登録できない場合は、登録エラーフォルダに移動します。

Carna BrowserはCarna Serverのデータベースにアクセスして、検査画像を検索します。検索した画像の一覧から表示したいものを選択すると、Carna Viewerが起動します。Carna Viewerではその画像に対して色調補正、コメント追加、所見作成などを行うことができます。

- Carna ViewerはCarna Browserからのみ起動することができます。また、Carna ViewerからCarna Browserを起動することはできません。
- Carna Serverは必ずCarna Clientと１対でインストールされます。Carna Clientは下図のように単独でインストールすることができます。
- DVシリーズで録画したMPEG-2ファイルを再生するには、別途アプリケーションソフトが必要です。詳細はお問い合わせください。
- VIEWFILE M-Receive、VIEWFILE Media Importについては、VIEWFILE Liteの取扱説明書をお読みください。（VIEWFILE Liteのインストールディスクに PDFファイルで入れてあります。）



Carna Server

Carna Server は NT サービスプログラムで、PC の起動と同時に起動します。Carna Server の実体はお客様からは見えませんが、VIEWFILE Carna を使用するには、これが起動していなければなりません。

Carna Console

Carna Console は Carna Server と同じ PC にインストールされます。このソフトは Carna Server の開始・停止、設定変更を行うときに使います。

データベース

データベースエンジンとして " Firebird " を使用しています。データベースファイルの指定、データベースバックアップの設定は Carna Console で行います。

画像ファイルの保存期間

保管フォルダの画像ファイルの保存期間は無期限ですが、Carna Browser の操作で任意のファイルを削除することができます。

■ 使用前の注意

- 各フォルダや画像ファイルを削除したり、名前を変更したりしないでください。もし削除したり、名前を変更すると、画像を検索できなくなります。
- Firebird を使用する他のアプリケーションソフトと VIEWFILE Carna とを同時に使用することはできません。
- 所見を作成するには Microsoft Word（97 以降）が必要です。本製品には Microsoft Word は付属していませんので、別途お求めください。

動作環境

CPU

Intel Pentium III 1 GHz 以上を推奨

メモリ

256 MB 以上（Carna Server は 512 MB 以上推奨）

ハードディスク

Carna Server ：画像保存に十分な容量が必要
Carna Client ： 100 MB 以上

マウス

ホイールボタン付きマウスを推奨

ディスプレイ

1024 × 768（24 ビットカラー）
1600 × 1200（24 ビットカラー）を推奨

OS（日本語版に対応）

Carna Server ： Windows 2000/XP
Windows 2000 Server 以外では共有フォルダへの最大アクセス数が 5 に制限されていますので、最大 Carna Client 数は 5 に制限されます。

Carna Client ： Windows 98/Me/2000/XP

- Windows 98、または Me で Carna Client を使用する場合、「共有」に設定した Carna Server の［保管フォルダ］に対して適切なアクセス権を設定する必要があります。Carna Client から、エクスプローラで Carna Server の［保管フォルダ］を開けることを確認してください。開けない場合は、Carna Browser で画像を検索できません。
  共有フォルダを開くための、アクセス権などの設定方法については、Windows のヘルプ等を参照してください。
- OS には最新のサービスパックをインストールしてください。

インストール

インストールの手順

VIEWFILE Carna のインストールのおおまかな手順はつぎのようになります。

1. “ Firebird ” をインストールする。

   Carna Server をインストールする場合と、Carna Client を単独でインストールする場合とで、インストールタイプの選択のしかたが異なります。詳細は後述します。

2. “ VIEWFILE Carna ” をインストールする。

   Carna Server をインストールする場合と、Carna Client を単独でインストールする場合とで、セットアップタイプの選択のしかたが異なります。詳細は後述します。

3. HASP キーを取り付ける。

   Carna Client を単独でインストールする場合にも HASP キーは必要です。

4. “ DirectX ” をインストールする。

   DirectX は Windows のマルチメディア機能を強化するドライバソフトで、MPEG-2 ファイルを再生するために必要です。

5. Carna Server をインストールした PC に、“ VIEWFILE Lite ” をインストールする。

   VIEWFILE Lite のインストール方法、設定については、VIEWFILE Lite の取扱説明書をお読みください。（VIEWFILE Lite のインストールディスクに PDF ファイルで入れてあります。）

以下、コンポーネントごとに説明します。

HASP キーを取り付ける

HASP キーはソフトウェアの不正使用を防止するためのハードウェアキーです。VIEWFILE Carna は、付属の HASP キーに組み込まれた ID を認識しないと起動しない仕組みになっています。HASP キーには USB タイプとパラレルポートタイプの２種類があり、どちらか１つが付属しています。取り付け方法はタイプによって異なりますので、パッケージに付属の HASP キーのタイプをご確認の上、下記の方法で取り付けてください。

USB タイプの場合

USB タイプの HASP キーはインストール後に取り付けます。インストール前に取り付けないでください。プラグアンドプレイにより HASP ドライバーのインストールを要求してきた場合は、プラグアンドプレイを中止してください。

パラレルポートタイプの場合

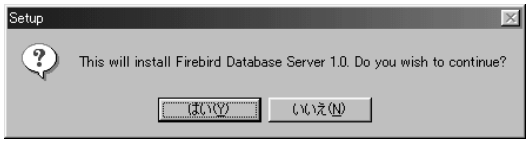
パラレルポートタイプの HASP キーはインストール前に PC のプリンタポート（D-Sub 25 ピン）に直接取り付けてください。
次に BIOS のセットアップポートが PS/2（＝双方向、Bi-Directional）、Compatible（＝互換、Normal、AT、Standard）、ECP、EPP のいずれかに設定されていることを確認してください。なお、プリンタを接続する場合はプリンタに応じた設定になっていることを確認してください。

Firebirdをインストールする

“ Firebird ”のインストール手順を説明します。

1. インストールディスクの［Firebird］フォルダの中の「Firebird-1.0.2.908-Win32.exe」をダブルクリックします。（ファイル名は2003年7月時点のものです。バージョンアップに伴い変更されることがあります。）

2. インストールの確認

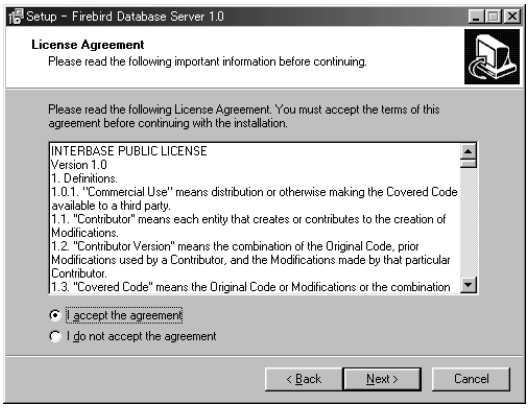


Firebirdをインストールするか否かを確認してきますので、［はい］をクリックします。

3. 実行中ソフト終了の確認

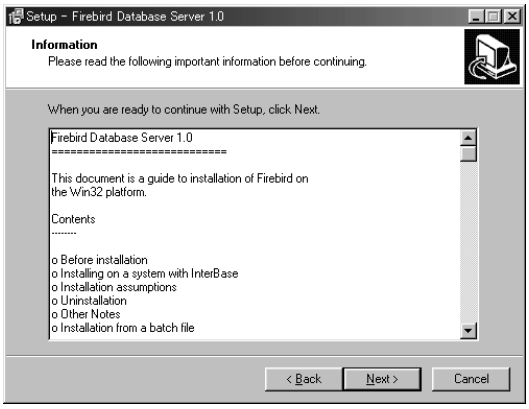
実行中のソフトがある場合は終了するように、とメッセージが出ます。終了してもかまわないソフトは終了し、［Next］をクリックします。

4. ライセンス契約



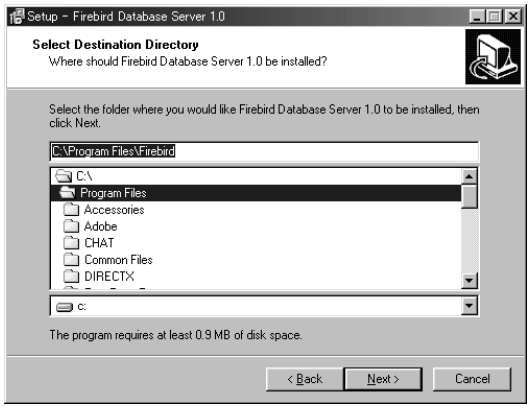
Firebirdのライセンスについての記述です。
「I accept the agreement」を選択して［Next］をクリックします。

5. 注意事項



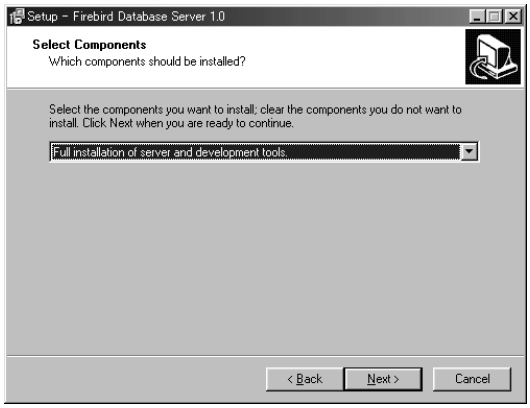
すでにFirebirdが実行されている場合は実行を止めて削除すること、などの注意事項が記述されています。
［Next］をクリックします。

6. インストール先指定



インストール先を指定する画面です。
特に変更する必要がなければこのまま［Next］をクリックします。

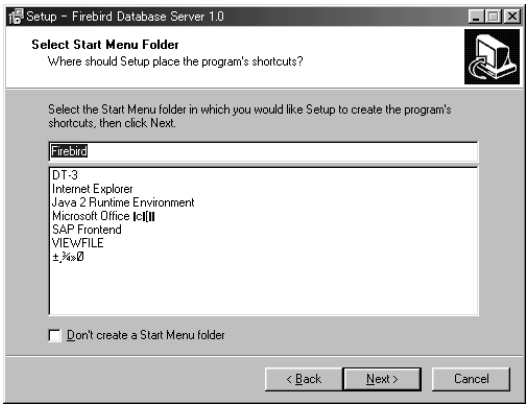
7. インストールタイプ選択


Setup - Firebird Database Server 1.0
Select Components
Which components should be installed?
Select the components you want to install; clear the components you do not want to install. Click Next when you are ready to continue.
Full installation of server and development tools.
< Back
Next >
Cancel

Carna Serverをインストールする PC には「Full installation of server and development tools.」が選択されていることを確認します。
Carna Client のみをインストールする PC には「Minimum client install - no server, no tools.」を選択します。

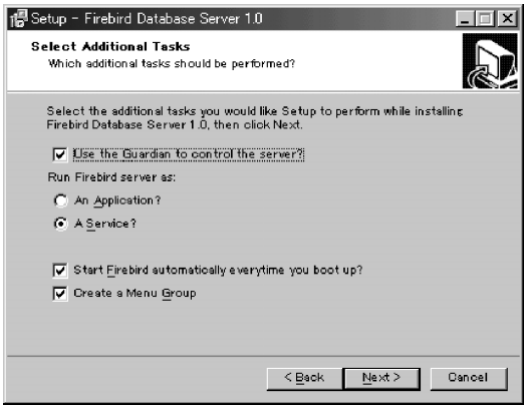
［Next］をクリックします。

8. ショートカット作成先選択


Setup - Firebird Database Server 1.0
Select Start Menu Folder
Where should Setup place the program's shortcuts?
Select the Start Menu folder in which you would like Setup to create the program's shortcuts, then click Next.
Firebird
DT-3
Internet Explorer
Java 2 Runtime Environment
Microsoft Office
SAP Frontend
VIEWFILE
Don't create a Start Menu folder
< Back
Next >
Cancel

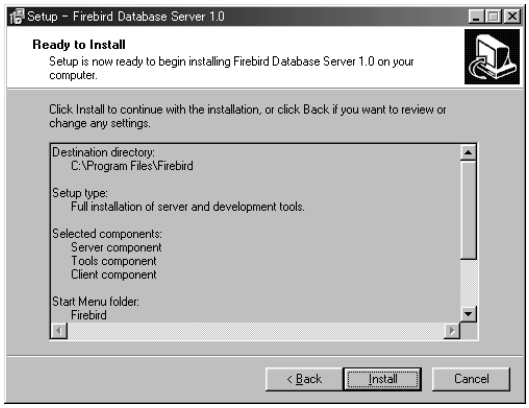
このまま［Next］をクリックします。

9. 追加設定事項


Setup - Firebird Database Server 1.0
Select Additional Tasks
Which additional tasks should be performed?
Select the additional tasks you would like Setup to perform while installing Firebird Database Server 1.0, then click Next.
Use the Guardian to control the server?
Run Firebird server as:
An Application?
A Service?
Start Firebird automatically everytime you boot up?
Create a Menu Group
< Back
Next >
Cancel

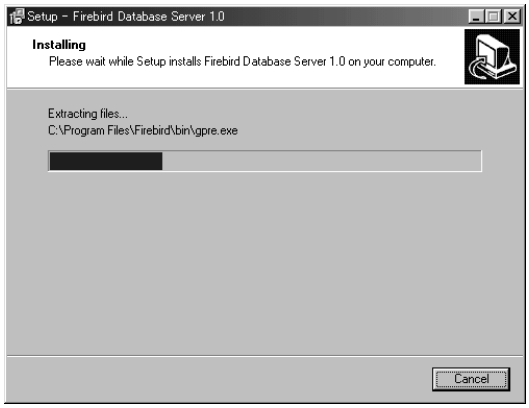
Carna Client を Windows 98、または Me で使用する場合は「Start Firebird automatically everytime you boot up?」のチェックを外し、［Next］をクリックします。
それ以外の場合はこのまま［Next］をクリックします。

10. インストール準備完了



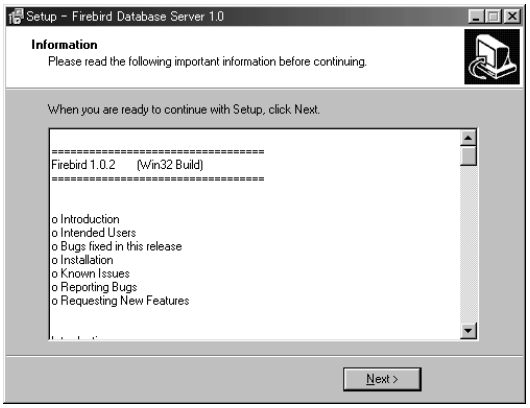
インストールの準備ができました。
[Install] をクリックします。

11. インストール実行中



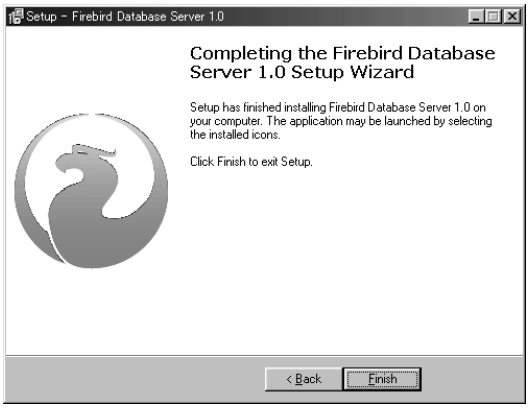
インストールが始まります。

12. 通知事項



Readme.txt の内容が表示されますので、[Next] をクリックします。Readme.txt は、Firebird インストール先のフォルダにあります。

13. インストール完了



以上で Firebird のインストールは完了しました。
[Finish] をクリックします。

VIEWFILE Carnaをインストールする

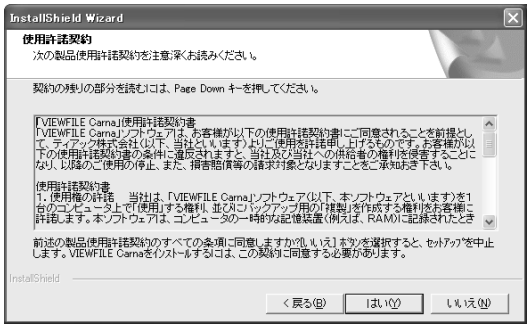
“VIEWFILE Carna”のインストール手順を説明します。

1. インストールディスクの［Carna］フォルダの中の「Setup.exe」をダブルクリックします。

2. InstallShieldウィザード

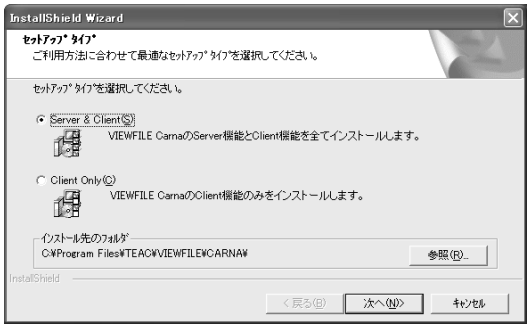
［次へ］をクリックします。

3. 使用許諾契約



［はい］をクリックします。

4. セットアップタイプの選択



Carna Serverをインストールする場合は、このまま［次へ］をクリックします。

Carna Clientのみをインストールする場合は［Client Only］を選択し、［次へ］をクリックします。この場合は手順11へ進んでください。

5. 設置情報の入力

施設名、施設コード、端末IDを入力し、［次へ］をクリックします。

施設名：施設名（病院名）を入力します。ここに入力する施設名は、所見作成時に埋め込まれます。

施設コード：VIEWFILE Carnaが施設を識別するためのコードで、ソフトが内部的に使用するものです。任意のコードを半角英数字で指定してください。このコードは保管フォルダ名に追加されま

すので、できるだけ短くしてください。

端末ID：VIEWFILE Carnaが PC 端末を識別するための ID で、ソフトが内部的に使用するものです。任意の文字を半角英数字で指定してください。この ID は保管フォルダ名に追加されますので、できるだけ短くしてください。

6. インストール先の選択

インストール先を変更する必要がなければ、このまま［次へ］をクリックします。

7. インポートフォルダの指定

変更する必要がなければ、このまま［次へ］をクリックします。

8. 登録エラーフォルダの指定

変更する必要がなければ、このまま［次へ］をクリックします。

9. 保管フォルダの指定

変更する必要がなければ、このまま［次へ］をクリックします。

10. 設定内容の確認

設定内容を確認し、［次へ］をクリックします。
手順 13 へ進んでください。

11. Server 情報入力（Client のみの場合）

Carna Server をインストールした PC のホスト名を指定します。TCP/IP ホスト名、Windows コンピュータ名、IP アドレスのどれでも使えます。
［次へ］をクリックします。

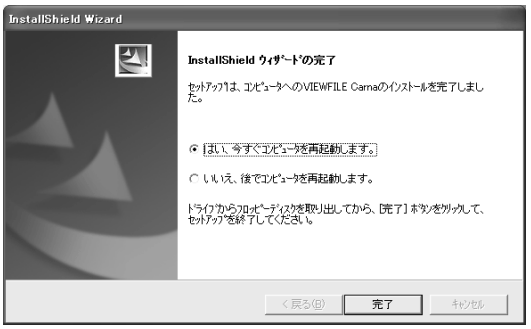
12. 設定内容の確認（Client のみの場合）

設定内容を確認し、［次へ］をクリックします。

13. インストール実行中

インストールが始まります。

14. インストール完了



VIEWFILE Carna のインストールは完了しました。
［完了］をクリックしてコンピュータを再起動します。

DirectXをインストールする

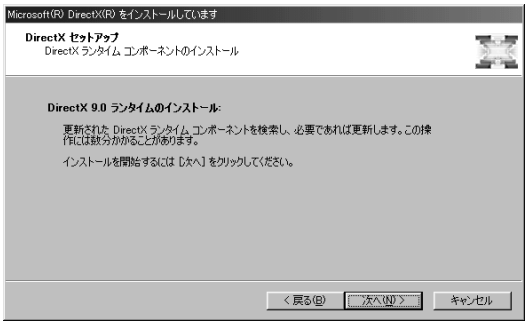
“DirectX”のインストール手順を説明します。
（DirectXのバージョンは2003年7月時点で9.0aです。改良のため更新されることがあります。）

1. インストールディスクの［DirectX9］フォルダの中の「dxsetup.exe」をダブルクリックします。

2. 使用許諾契約

［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

3. インストール開始

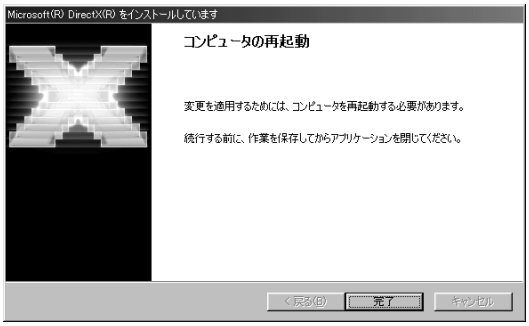


［次へ］をクリックします。

4. インストール実行中

インストールが始まります。

5. インストール完了



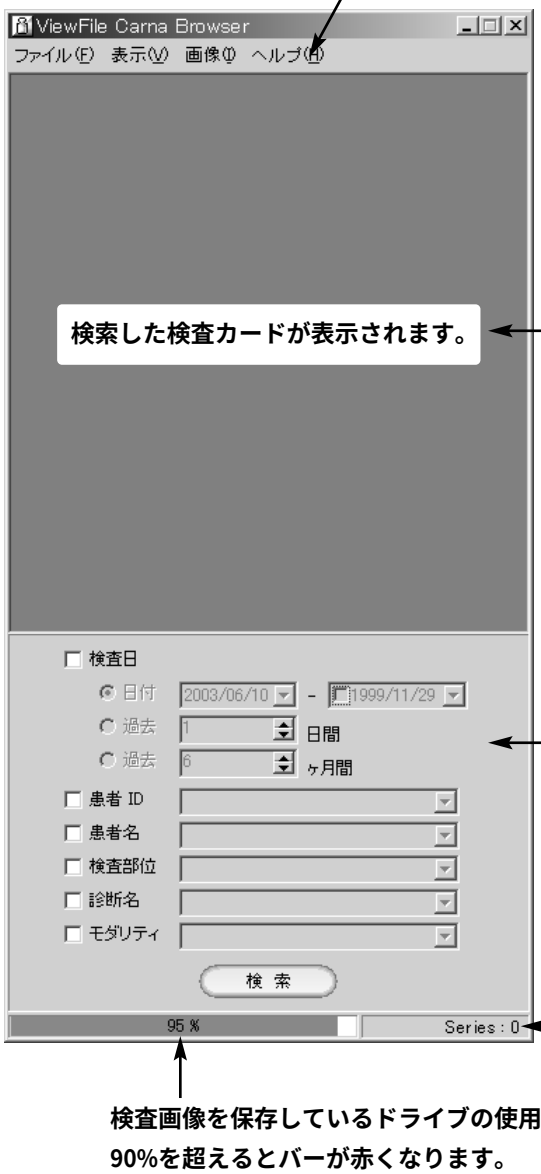
DirectXのインストールは完了しました。
［完了］をクリックしてコンピュータを再起動します。

Carna Browserのあらまし

Browserウィンドウ

Carna Browserを起動するには、Carna Clientをインストールした PC で［スタート］メニューから［(すべての）プログラム］→［VIEWFILE］→［Carna Browser］をクリックします。
起動すると、下図のウィンドウが現れます。

このウィンドウで検索条件を入力して［検索］ボタンをクリックすると、条件に合致した検査カード（☞ p. 18）が一覧表示されます。表示された検査カードの中から拡大したいものをダブルクリックすると、Carna Viewerが起動します。



検索のしかた

1. Carna Browserウインドウの下部で希望の検索項目をチェックし、その右に条件の詳細を入力してください。（検索項目の詳細 ☞ 次ページ）

   複数の検索条件を指定すると、それらのANDをとり、それらすべてを満たす検査カードだけが検索対象となります。

2. ［検索］ボタンをクリックします。
   指定した条件に合致する検査カードの一覧が表示されます。

3. 拡大して見たい検査カードをダブルクリックします。

   複数の検査カードを選択するには、キーボードのCtrlキーを押しながら検査カードをクリックします。次にメニューバーの［画像］から［Carna Viewerに表示］を選択します。

4. すると、Carna Viewerが起動し、同一の患者IDのすべての検査画像（検査日が異なるものも含めてすべて）がサムネイルで表示されます。（☞ p. 21）

■ 検索できないときは

［検索］ボタンが無効になっている場合、または、検索を開始するとエラーメッセージが表示される場合は、Carna Serverが起動していないか、Carna Serverとの通信にかかわる設定に誤りがあることが考えられます。

Carna Serverの起動を確認する

Carna ServerをインストールしたPCでCarna Consoleを起動し、ウィンドウ左下の［現在のサービス状態］にRUNNINGと表示されていることを確認してください。（☞ p. 44）
もしSTOPPEDと表示されていたら、［サービス］メニューから［VIEWFILE Carnaの起動］をクリックしてCarna Serverを起動してください。

通信設定を確認する

Carna Browserでメニューバーの［ファイル］から［環境設定］を選択し、［通信］タブで［ホスト名］と、［サーバ通信ポート］が正しく設定されていることを確認してください。（☞ p. 48）

検索項目の詳細

検査日

検査日を指定して検索します。

特定の日付、または特定の期間、過去何日間、過去何ヶ月間と指定することができます。いつからいつまで、と期間を指定するには、[日付]の右のフィールドの中のチェックボックスにチェックして、日付を指定してください。

患者ID

患者IDを指定して検索します。

▼をクリックすると、過去に検索した患者IDのリストが表示されます。そこから選択することもできます。

患者名

患者名を指定して検索します。

▼をクリックすると、過去に検索した患者名のリストが表示されます。そこから選択することもできます。

検査部位

検査部位を指定して検索します。

▼をクリックすると、過去に検索した検査部位のリストが表示されます。そこから選択することもできます。

診断名

診断名を指定して検索します。

▼をクリックすると、過去に検索した診断名のリストが表示されます。そこから選択することもできます。

モダリティ

モダリティを指定して検索します。

▼をクリックすると、過去に検索したモダリティのリストが表示されます。そこから選択することもできます。

■ ワイルドカードで検索する

[検査日]以外の入力フィールドには、ワイルドカードとして「＊」を使えます。＊は任意の文字列にマッチし、何文字分にもなります。半角で入力してください。

例： IDが「123」で始まる患者をすべて検索する
→患者IDに「123＊」と入力します。

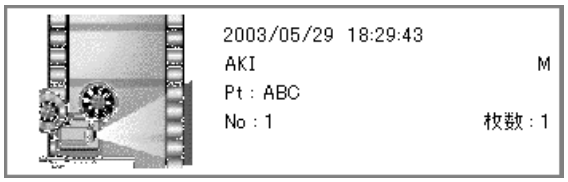
例： 姓が「武蔵野」の患者をすべて検索する
→患者名に「武蔵野＊」と入力します。

検査カードについて

検索結果の一覧で最小の単位を「検査カード」と呼びます。静止画の場合、シリーズごとに検査カードが表示されます。動画の場合は、録画開始から停止までを１つの単位として、その単位ごとに検査カードが表示されます。

- ティアック製MVシリーズは「シリーズ」をサポートしていませんので、１つの「検査」ごとに検査カードができます。

静止画の場合はそのシリーズの最初の画像が表示され、動画の場合は画像の代わりに動画であることを表すイラストが表示されます。



（動画の例）

検査カードに表示される情報

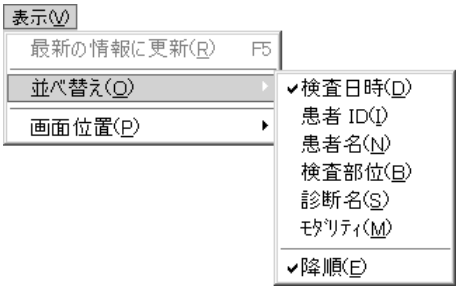
検査カードには下記の情報が表示されます。ただし、データベースに登録されていない情報は表示されません。患者情報を変更すると、検査カードにも反映されます。

モダリティ
性別
検査部位
シリーズ内の画像総数
（動画の場合は「1」）

検査開始日時
患者名
Pt：患者ID
No：シリーズ番号
診断名（診断名は１つのシリーズにつき５つまで入力できますが、そのうち先頭の診断名を表示します。）

■ 検査カードを並べ替える

［表示］メニューから［並べ替え］をクリックすると、並べ替え条件の一覧が表示されます。



それぞれの項目順に並べ替えることができます。

- 複数の並べ替え条件を同時に指定することはできません。
- ［降順］にチェックマークをつけると、降順に並べ替えられます。
- どの順に並べ替えても、シリーズ番号については必ず番号の若い順になります。

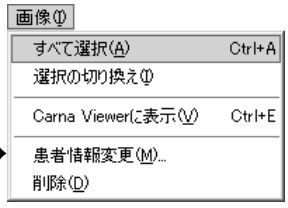
患者情報を修正する

Carna Browserで患者情報（患者ID、患者名、生年月日、性別）を修正することができます。患者ID以外はCarna Viewerでも修正できます。（☞ p. 30）

●修正は所見の作成前に

患者情報は所見を作成する際に自動的に埋め込まれますので、修正は所見の作成前に行ってください。所見作成後に患者／検査情報を修正しても、作成済みの所見には変更が反映されません。
もし所見作成後に患者IDを変更すると、作成済みの所見とのリンクがはずれ、その所見が開けなくなります。リンクがはずれてから改めて所見を作成すると、新規の所見として扱われます。

患者情報を修正するには、検索結果一覧から希望の検査カードを１つクリックして反転させ、［画像］メニューから［患者情報変更］を選択します。



下図のダイアログが現れますので、変更したい情報を入力して［OK］をクリックします。

一度に複数のシリーズの患者情報を修正する

同じ患者IDの別のシリーズが存在する場合は、ダイアログ下部の［患者ID“XXXXX”の他の検査履歴］にそれらがリストで表示されます。それらのシリーズの患者情報も同時に修正したいときは、リストから修正したいシリーズの左端のチェックボックスをチェックします。リストの全シリーズを選択するには［全て選択］をクリックします。すべてのシリーズをチェックをはずすには［全て未選択］をクリックします。

リスト内のシリーズが持つ患者情報を適用する

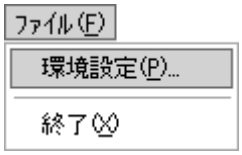
検索結果一覧から今 選択した検査カードに、リスト内のシリーズが持つ患者情報を適用したいときは、リスト内のそのシリーズをクリックして反転させ、［選択中の患者情報を適用］をクリックします。すると、上部の患者情報欄に、そのシリーズの患者情報が適用されます。

患者IDを変更すると

患者IDを変更したときは患者ID欄に入力した後、フォーカスを移すと（たとえば他のフィールドに移動したり、［OK］をクリックすると）、つぎのダイアログが現れます。

［はい］をクリックすると、修正後の患者IDによる、過去のシリーズ一覧が表示されます。

Browserの各メニュー



環境設定

Carna Serverとの通信にかかわる設定や、検査カードの表示のしかたの設定をします。

終了

Carna Browserを終了します。

最新の情報に更新

検索後にデータベースが更新されている場合に、表示されている検査カードのリストをそれに応じて更新します。

並べ替え

表示されている検査カードを並べ替えます。

画面位置

Carna Browserの画面上の表示位置を左右に切り替えます。

すべて選択

表示されている検査カードをすべて選択します。

選択の切り替え

選択した検査カードのすべてについて選択を解除し、選択していないすべての検査カードを選択します。

Carna Viewerに表示

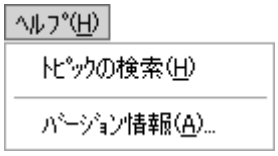
選択したすべての検査カードをCarna Viewerに渡して表示します。

患者情報変更

選択した検査カードの患者情報を変更するためのダイアログを表示します。

削除

選択した検査カードを削除します。
削除すると、その検査カードに対応した画像ファイルがデータベースから削除されます。それにリンクして作成した所見も削除されます。この操作は元に戻せませんので、ご注意ください。



トピックの検索

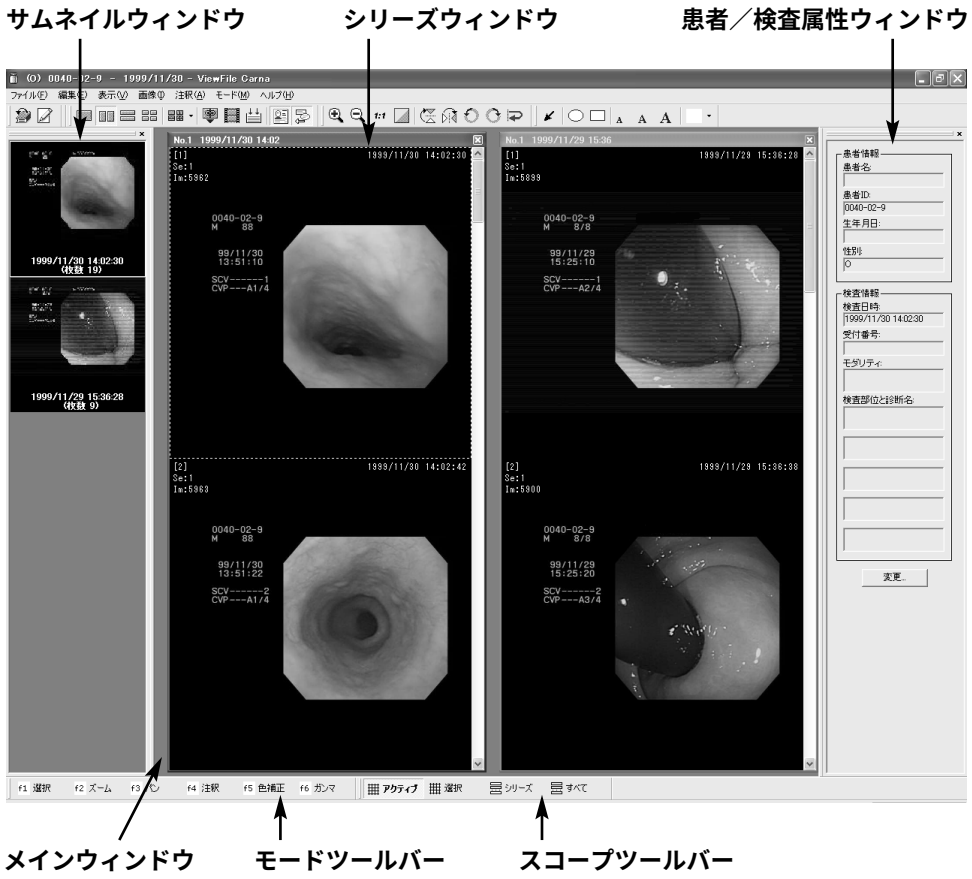
ヘルプを表示します。

バージョン情報

Carna Browserのバージョン情報を表示します。

Carna Viewerのあらまし

Carna Viewerが起動すると下図のウィンドウが現れます。



サムネイルウィンドウ

同一の患者IDのすべての検査画像がサムネイルで表示されます。静止画の場合はシリーズごとにそのシリーズの代表画像が表示されます。動画の場合は、録画開始から停止までを１つの単位として、その単位ごとに動画であることを表すイラストが表示されます。

シリーズウィンドウ

サムネイルに対応する詳細画像が表示されます。起動時は、一番上のサムネイルに対応する画像が表示されています。静止画の場合は、そのシリーズに含まれる画像をスクロールして見ることができます。複数のシリーズウィンドウを表示して比較したり（☞ p. 24）、シリーズウィンドウ内を分割したり（☞ p. 25）もできます。

患者／検査属性ウィンドウ（☞ p. 30）

アクティブになっているシリーズウィンドウの患者／検査情報を表示します。

メインウィンドウ

サムネイルウィンドウ、シリーズウィンドウ、患者／検査属性ウィンドウを表示するベース部分をメインウィンドウとよびます。

モードツールバー（☞ p. 34）

シリーズウィンドウ上でマウスに特殊な機能を持たせることができます。

スコープツールバー（☞ p. 27）

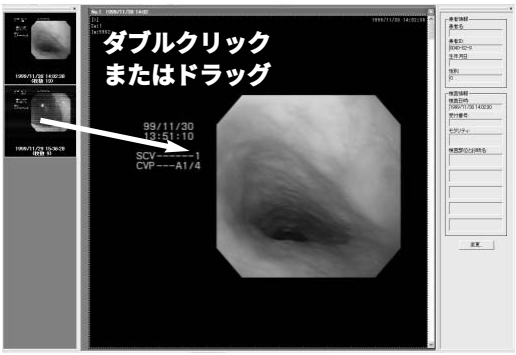
画像のズームや反転、回転の操作の適用範囲を選択します。どれか１つが常に選択されています。

Carna Viewerの使いかた

Carna Viewerでは検索した静止画像に対して回転、色調補正、注釈追加などの加工や、所見の作成ができます。
以下に基本的な使いかたを順を追って説明します。

1. 見たいシリーズを表示する（☞ p. 24）

表示されているシリーズとは別の画像を見るには、サムネイルウィンドウで、見たいシリーズのサムネイルをダブルクリックするか、そのサムネイルをメインウィンドウにドラッグします。



それまで表示されていたシリーズウィンドウに戻すには、そのシリーズのサムネイルをクリックします。

2. 画像を拡大する（☞ p. 27）

画像を拡大するには、まず、スコープツールバーの［アクティブ］をクリックします。
次に、ツールバーで、

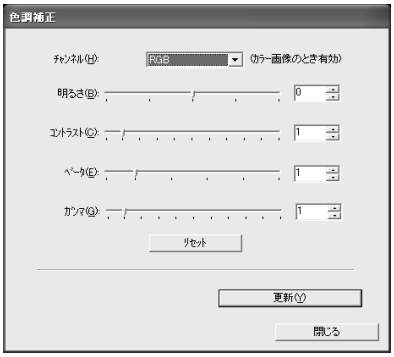
クリックするたびに大きくなります。

クリックするたびに小さくなります。

元の大きさに戻ります。

3. 色調を補正する（☞ p. 28）

画像の色調を補正するには、［画像］メニューから［色調補正］を選択します。現れたダイアログで、明るさなどの値を調整し、［更新］をクリックします。最後に［閉じる］をクリックします。



元の色調に戻すには、同じダイアログで［リセット］→［更新］→［閉じる］の順にクリックします。

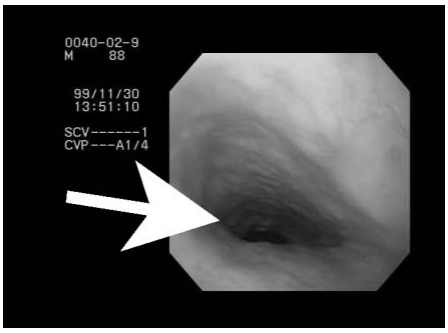
4. 矢印を追加する（☞ p. 29）

まず、矢印の色を選びます。

ツールバーの［色の変更］ボタンの右の▼をクリックするとリストが現れますので、希望の色を選びます。

ツールバーの［矢印］ボタンをクリックして、ボタンが凹んで見える状態にします。

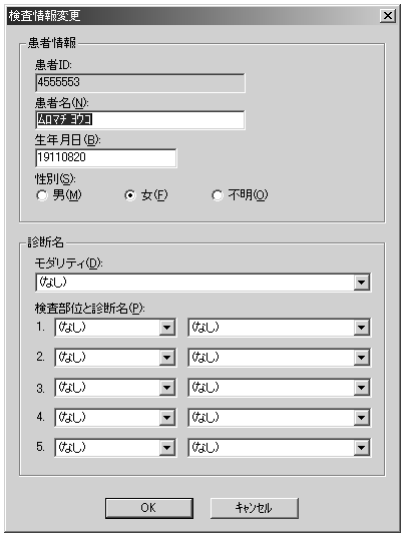
ポインターの形が変わりますので、矢印を描きたい位置をドラッグします。ドラッグの開始点が矢の先端になります。



描いた矢印を削除するには、Ctrlキーを押しながらその矢印をクリックします。
最後にツールバーの［矢印］ボタンをクリックして、ボタンが凹んでいない状態に戻します。

5. 患者情報／検査情報を修正する（☞ p. 30）

患者情報、検査情報を修正するには、患者／検査属性ウィンドウの［変更］ボタンをクリックします。現れたダイアログで情報を修正し、［OK］をクリックします。



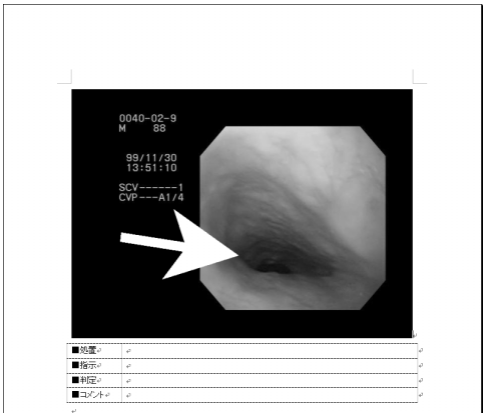
6. 所見を作成する（☞ p. 31）

所見を作成するには、ツールバーの［所見］ボタンをクリックします。
Microsoft Wordが起動し、テンプレートを元にした所見ファイルが開かれますので、所見を書き込んでください。

7. 所見に画像を貼り付ける（☞ p. 32）

Carna Viewerに戻り、［編集］メニューから［画像全体のコピー］→［伸縮なし］を選択します。するとポインタが手の形に変わりますので、画像をクリックします。これで画像がクリップボードにコピーされます。

ふたたびWordに戻り、画像を貼り付ける位置をクリックします。次に［編集］メニューから［貼り付け］を選択すると、画像が貼り付けられます。



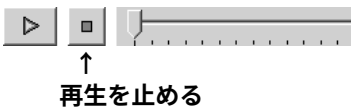
画像の大きさを調整するには、画像をクリックして、その右下の隅をドラッグします。

8. 所見を保存する

所見を保存するには、［ファイル］メニューから［上書き保存］を選択します。
ファイル名は変更しないでください。もし変更すると、シリーズ画像とのリンクが失われます。

動画でできること

以上に説明した機能のうち、動画に対しては患者情報修正と所見作成ができます。



（動画再生には別途ソフトウェアが必要です。）

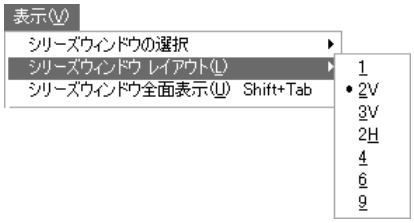
いろいろな表示

複数のシリーズウィンドウを表示する

Carna Viewerのメインウィンドウには、複数のシリーズウィンドウを並べて表示することができます。

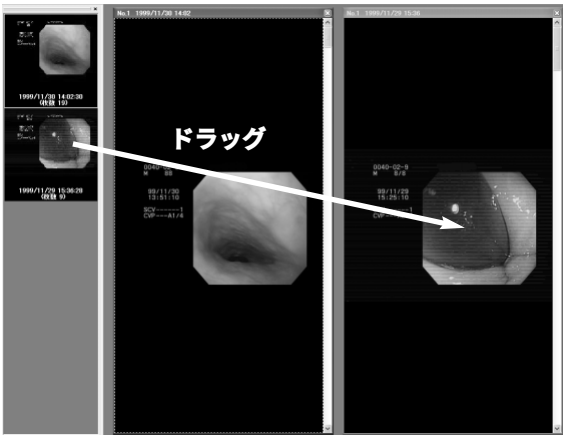
1. 複数のシリーズウィンドウを表示するには、まず、ツールバーの［シリーズウィンドウレイアウト］ボタンから希望のレイアウトをクリックします。

または［表示］メニューの［シリーズウィンドウレイアウト］から希望のレイアウトを選択します。



1： 1つのウィンドウを全画面に表示
2V： 2つのウィンドウを横に並べて表示
3V： 3つのウィンドウを横に並べて表示
2H： 2つのウィンドウを縦に並べて表示
4： 4つのウィンドウを表示
6： 6つのウィンドウを表示
9： 9つのウィンドウを表示

2. 次に、サムネイルウィンドウで、見たいシリーズのサムネイルをダブルクリックします。または、そのサムネイルをメインウィンドウにドラッグします。すると、シリーズウィンドウが並んで表示されます。



（2シリーズ表示の例）

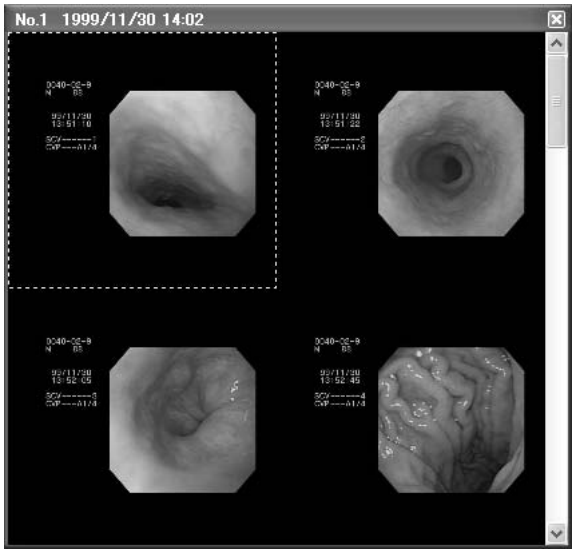
- 1つのシリーズウィンドウだけを全画面に表示するには、そのタイトルバーをダブルクリックします。もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

- Shift + Tab キーで、アクティブウィンドウ（タイトルバーが濃く表示されているウィンドウ）の全画面表示と複数ウィンドウ表示とを切り替えられます。

- シリーズウィンドウのタイトルバーをドラッグして、表示位置を入れ替えることができます。

シリーズウィンドウを分割する

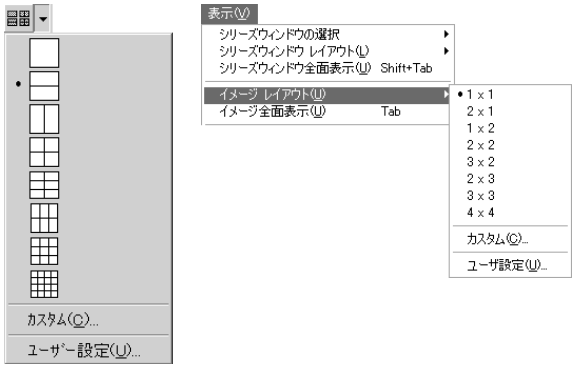
静止画のシリーズウィンドウ内を分割して、複数の画像を同時に表示することができます。



（4分割の例）

シリーズウィンドウ内を分割するには、［表示］ツールバーの［レイアウトの変更］ボタンの右の▼をクリックし、レイアウトを選択します。

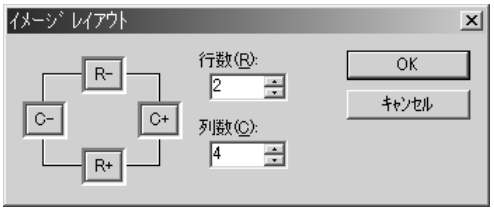
または、［表示］メニューの［イメージレイアウト］からレイアウトを選択します。



- 分割表示のとき、画像の１つをダブルクリックすると、その画像の全体表示になります。もう一度ダブルクリックすると分割表示に戻ります。
- Tabキーを押すと、アクティブウィンドウ（タイトルバーが濃く表示されているウィンドウ）内で、アクティブな画像（黄色の点線で囲まれている画像）のウィンドウ内全体表示と分割表示とを切り替えられます。

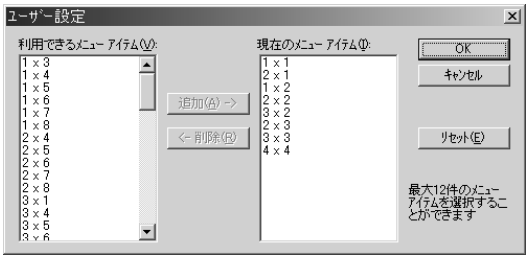
任意のレイアウトを指定する

任意のレイアウトを指定できます。［カスタム］を選択すると現れるダイアログで、行数、列数を指定して［OK］をクリックしてください。



［イメージレイアウト］メニューを編集する

［イメージレイアウト］メニューに表示される分割パターンを追加／削除することができます。［ユーザー設定］を選択すると下のダイアログが現れますので、追加／削除してください。



- このダイアログでの［○ x ○］の表記は［行 x 列］を意味します。
- 初期状態に戻すには［リセット］をクリックします。

便利なスクロール

静止画のシリーズウィンドウにはそのシリーズの全画像が含まれていて、スクロールして見ることができます。スクロールには便利な方法があります。

■ 一括スクロール

ホイールボタン付きマウスを使用の場合で、複数のシリーズウィンドウを表示しているときに、ホイールによりそれらを連動してスクロールすることができます。

- マウスのホイール以外の手段でスクロールした場合は、連動しません。

一括スクロールを有効にする

ツールバーの［一括スクロール］ボタンをクリックして、凹んで見える状態にします。

または、［表示］メニューの［一括スクロール］の左にチェックマークをつけます。

■ オートスクロール

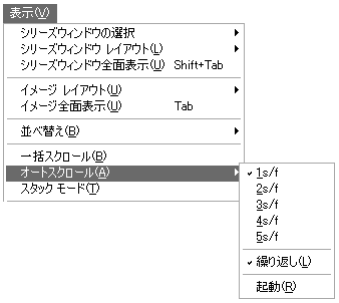
シリーズウィンドウ内の全画像を自動的にスクロールすることができます。

オートスクロールを始める

ツールバーの［オートスクロール］ボタンをクリックして、凹んで見える状態にします。オートスクロールを止めるには、もう一度クリックします。

オートスクロールの設定

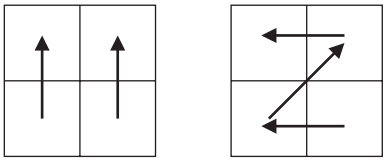
［表示］メニュー→［オートスクロール］で、オートスクロールの動作を設定できます。



1～5 s/fは1画像あたり何秒でスクロールするかを設定します。［繰り返し］にチェックマークをつけると、スクロールを繰り返します。

■ スタックモード

シリーズウィンドウ内の横方向の分割数が2列以上の場合にスクロールすると、通常は行単位のスクロールになります。「スタックモード」とは、行単位ではなく、画像単位で1つずつ詰めてスクロールする動作です。



通常時　　スタックモード

スタックモードを有効にする

ツールバーの［スタックモード］ボタンをクリックして、凹んで見える状態にします。

または、［表示］メニューの［スタックモード］の左にチェックマークをつけます。

画像を加工する

操作の適用範囲を選択する

静止画像のズーム、回転、反転、色調補正を行うには、その前にまず、その操作の適用範囲を指定します。この適用範囲のことを「スコープ」とよびます。

スコープには、アクティブ、選択、シリーズ、すべての４種類があり、常にどれか１つだけが選択されています。スコープを変更するには、画面右下の［スコープ］ツールバーのボタンをクリックします。

［アクティブ］

１つのアクティブな画像（黄色の点線で囲まれている画像）だけに適用します。

［選択］

アクティブな（タイトルバーが濃く表示されている）シリーズウィンドウ内の、「選択」した画像（赤の実線で囲まれている画像）すべてに適用します。

「選択」するには、画面左下のモードツールバーの［選択］ボタンを凹んで見える状態にして、希望の画像をクリックします。選択を解除するには、Esc キーを押します。または、Ctrl キーを押しながらクリックします。

［シリーズ］

アクティブなシリーズウィンドウ内のすべての画像に適用します。

［すべて］

表示しているすべてのシリーズウィンドウに適用します。

● 画像のズーム、回転、反転、色調補正の操作により、Carna Server の保管フォルダに保存された画像そのものが加工されるわけではありません。Carna Viewer を終了すると、元に戻ります。

ズームする

静止画像を拡大／縮小するには、つぎのような方法があります。

ツールバーで

クリックするたびに大きくなります。

クリックするたびに小さくなります。

ホイールボタン付きマウスで

Ctrl キーを押しながらマウスのホイールを向こうに回すと拡大、手前に回すと縮小できます。

［ズーム］モードで

モードツールバーの［ズーム］を選択すると、ポインタが虫メガネの形に変わります。上にドラッグすると拡大、下にドラッグすると縮小できます。

オリジナルの画像サイズにする

ツールバーのボタンをクリックします。

または、［画像］メニューから［ズーム］→［伸縮なし］を選択します。

ウィンドウいっぱいに表示する

ツールバーのボタンをクリックします。

または、［画像］メニューから［ズーム］→［全体表示］を選択します。

拡大してウィンドウからはみ出したら

モードツールバーの［パン］を選択すると、ポインタが手の平の形に変わります。画像をドラッグすることにより、見える部分を移動できます。

ホイールボタン付きマウスを使用の場合は、ボタンを押しながら画像をドラッグします。

画像全体がウィンドウ内に収まっている場合は、これらの操作はできません。

反転／回転する

静止画像を反転／回転するにはツールバーのつぎのボタンをクリックします。

上下を反転します。

左右を反転します。

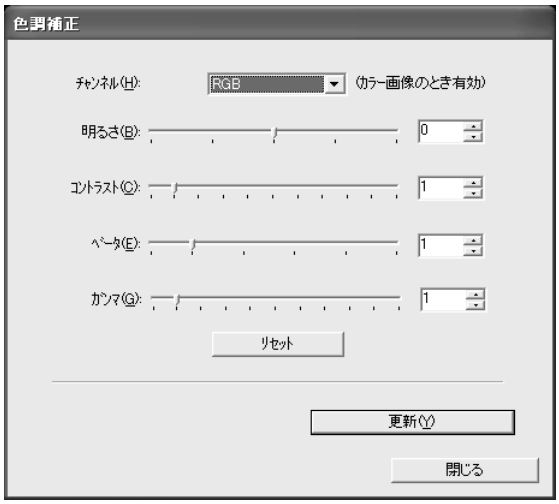
左に 90 ° 回転します。

右に 90 ° 回転します。

反転／回転後に元に戻します。

色調を補正する

静止画像の色調を補正するには、［画像］メニューから［色調補正］を選択します。



現れたダイアログで、明るさなどの値を調整し、［更新］をクリックします。すると、画像に調整値が反映されます。最後に［閉じる］をクリックします。

元の色調に戻すには、同じダイアログで［リセット］→［更新］→［閉じる］の順にクリックします。

マウスで色調を補正する

マウスを使って、より簡単に調整できます。

［色補正］モードで

モードツールバーの［色補正］を選択すると、ポインタが手とランプの形に変わります。上下にドラッグすると明るさが変わり、左右にドラッグするとコントラストが変わります。

［ガンマ］モードで

モードツールバーの［ガンマ補正］を選択すると、ポインタが手とグラフの形に変わります。ドラッグすると左下にグラフが現れ、ドラッグに応じてグラフのカーブが変わります。

画像に注釈を追加する

静止画像に注釈として、矢印、楕円、四角、文字を追加することができます。

- 注釈は画像そのものを加工して追加されるのではなく、画像にリンクした形で画像とは別に保存されます。注釈追加後に他の PC からアクセスしても表示されます。

注釈を追加するには、まずその色を選択し、つぎに注釈の種類をツールバーから選択して、画像の希望の位置に描画またはタイプします。

注釈の色を選択する

ツールバーの［色の変更］ボタンの右の▼をクリックするとリストが現れますので、希望の色を選びます。すでに追加した注釈の色を変更することはできません。

矢印を描く

矢印を描きたい範囲をドラッグします。ドラッグの開始点が矢の先端になります。矢先の大きさ、線の太さは指定できません。

楕円を描く

楕円を描きたい範囲をドラッグします。

四角を描く

四角を描きたい範囲をドラッグします。

文字を追加する

まず、ツールバーで文字の大きさを選択します。次に、文字を追加したい位置をクリックし、タイプします。文字が多い場合は、文字入力範囲をドラッグして指定してからタイプします。

注釈を削除する

削除したい注釈を右クリックすると［マークの削除］が現れますので、それをクリックします。
または、いずれかの注釈ツールが選択されている状態（ボタンが凹んで見える状態）で、Ctrl キーを押しながら、削除したい注釈をクリックします。

注釈を隠す

追加した注釈を画面から隠すことができます。
注釈ツールがどれも選択されていない状態（ボタンが凹んでいない状態）で、ツールバーの［注釈の表示／非表示］ボタンをクリックします。クリックするたびに注釈の表示／非表示を切り替えられます。

- この切り替えは、表示しているすべてのシリーズウィンドウに適用されます。また、注釈を隠しても、削除されるわけではありません。

注釈モードの切り替え

画面左下のモードツールバーの［注釈］ボタンをクリックすると、注釈ツールの有効／無効をワンタッチで切り替えられます。

無効から有効に戻したときは、最後に使ったツールが選択されています。

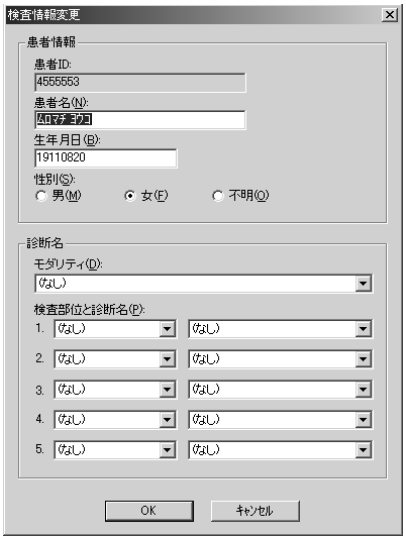
患者情報を修正する

患者／検査属性ウィンドウには、アクティブなシリーズウィンドウ（タイトルバーが濃く表示されているウィンドウ）の患者情報／検査情報が表示されています。これらの情報を修正することができます。（ただし患者 ID の変更は Carna Viewer ではできません。）

● **修正は所見の作成前に**

これらの情報は所見を作成する際に自動的に埋め込まれますので、修正は所見の作成前に行ってください。所見作成後に患者／検査情報を修正しても、作成済みの所見には変更が反映されません。

患者／検査情報を修正するには、［変更］ボタンをクリックします。現れたダイアログで修正し、［OK］をクリックします。



モダリティ：１つのシリーズについて１つだけ選択できます。

診断名：１つのシリーズについて５つまで入力することができます。

● **患者情報を修正すると**

［患者情報］の項目（患者名、生年月日、性別）を変更すると、このシリーズだけでなく、同一患者 ID のすべての検査の患者情報も同じように変更されます。

● モダリティ、検査部位、診断名のドロップダウンリストに表示させる項目を編集することができます。（『診断名定義ファイル』☞ p. 42）

所見を作成する

１つのシリーズについて１つの所見を作成することができます。動画の場合は、動画１つについて所見を１つ作成することができます。

●所見を作成するには Microsoft Word（97 以降）が必要です。Word は本製品に付属していませんので、別途お求めください。Word の使いかたについては、Word のヘルプなどを参照ください。

所見ファイルを開く

所見を作成するには、対象のシリーズウィンドウをアクティブにして（そのウィンドウをクリックしてタイトルバーが濃く表示されるようにする）、ツールバーの［所見］ボタンをクリックします。すると、Word が起動し、所見ファイルが開かれます。

初めて所見を作成する場合

初めてこのシリーズの所見を作成する場合は、テンプレートを元にした所見ファイルが開かれます。

この所見ファイルには、患者 ID、検査日時などを元にしたファイル名がすでにつけられいて、開いた時点で Carna Server の保管フォルダにいったん保存されます。
検査日、患者 ID などの欄はデータベースから読み込んで、あらかじめ書き込まれています。これらの情報を書き換えても画像とのリンクは保たれます。

●所見テンプレートとは
所見のテンプレートとして使われるファイルは、VIEWFILE Carna のインストールフォルダ（通常は C:\Program Files\TEAC\VIEWFILE\Carna）の中の［Templates］フォルダにある［Report01.dot］です。所見の書式を変更したいときは、このファイルを編集してください。
（『所見テンプレート』☞ p. 40）

すでに所見を作成済みの場合

すでにこのシリーズの所見を作成済みの場合は、その所見ファイルが開かれます。

● 所見作成後に患者情報／検査情報を変更した場合、作成済みの所見には反映されません。（☞ 前ページ）作成済み所見の患者情報／検査情報を変更したいときは、手入力で変更してください。

所見に画像を貼り付ける

検査画像は所見に取り込んでありません。画像を取り込むには、Carna Viewer でコピーし、所見ファイルにペーストします。画像加工、注釈追加を行った場合は、それが反映された画像がコピーされます。
（『所見に画像を貼り付ける』☞ 次ページ）

所見ファイルを保存する

所見の書き込みが終わったらファイルを保存します。保存するには、Word の［ファイル］メニューから［上書き保存］を選択します。

● ［名前をつけて保存］を選択しないでください。もしファイル名を変更すると、シリーズ画像とのリンクが失われ、Carna Viewer からの操作で所見ファイルを開けなくなります。

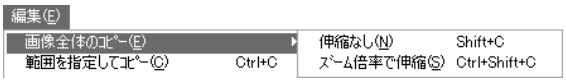
所見に画像を貼り付ける

所見に検査画像を貼り付けるには、Carna Viewerでコピーし、所見ファイルにペーストします。

●動画を所見に貼り付けることはできません。

Carna Viewerでコピーする

コピーには、検査画像をどんな大きさで貼り付けるかによって、つぎの３つの方法があります。



・元の画像サイズで画像全体を貼り付ける

［編集］→［画像全体のコピー］→［伸縮なし］を選択します。ポインタが手の形に変わりますので、貼り付ける画像をクリックします。

・表示しているサイズで画像全体を貼り付ける

［編集］→［画像全体のコピー］→［ズーム倍率で伸縮］を選択します。ポインタが手の形に変わりますので、貼り付ける画像をクリックします。

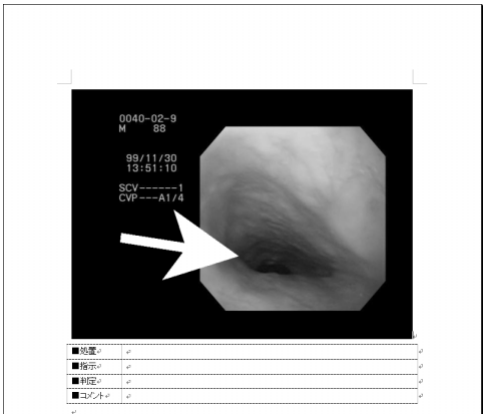
・画像の一部を、表示しているサイズで貼り付ける

［編集］→［範囲を指定してコピー］を選択します。ポインタが十字に変わりますので、貼り付ける範囲をドラッグして囲みます。すると、ポインタが手の形になりますので、範囲指定した枠内をクリックします。

この操作により、画像がクリップボードにコピーされます。

Wordに貼り付ける

Wordに切り替え、所見ファイル上で画像を貼り付ける位置をクリックします。次に、［編集］メニューから［貼り付け］を選択します。すると、コピーした画像が貼り付けられます。



画像の大きさを調整するには、画像をクリックして、その右下の隅をドラッグします。

●ドラッグ＆ドロップで貼り付けることもできます。コピーする時にポインタが手の形になったら画像をドラッグして（範囲指定した場合はその枠内をドラッグ）、所見ファイルの希望の位置にドロップします。

こんなこともできます

ショートカットメニューを使う

静止画上でマウスの右ボタンをクリックすると、ショートカットメニューが現れます。

ショートカットメニューには、Carna Viewerの機能の中で使用頻度の高いものを割り当ててあります。これにより、簡単に操作することができます。

選択／解除

ポインタの下にある画像を選択します。すでに選択している画像に対しては選択を解除します。選択した画像は赤い実線で囲まれます。

すべてを選択

シリーズウィンドウ内のすべての画像を選択します。

選択の切り替え

シリーズウィンドウ内の、選択している画像を選択解除し、選択していない画像を選択します。

選択のクリア

シリーズウィンドウ内で選択しているすべての画像を選択解除します。

画像全体のコピー

画像をクリップボードにコピーします。[伸縮なし]または［ズーム倍率で伸縮］を選択できます。

ズーム

ズームイン、ズームアウト、伸縮なし、全体表示を選択します。

反転と回転

画像の反転、回転、元の状態へのリセットを行います。

モード

マウスの機能を［選択]、[ズーム]、[パン]、[注釈]、[色補正]、[ガンマ］から選択できます。モードツールバーの同名のボタンをクリックするのと同じ働きをします。

スコープ

画像のズーム、反転、回転、色調補正の操作の適用範囲を選択します。スコープツールバーの同名のボタンを選択するのと同じ働きをします。

注釈

矢印、楕円、四角、注釈（文字）を追加します。注釈ツールバーの、それぞれに相当するボタンをクリックするのと同じ働きをします。

モードツールを使う

モードツールを使ってマウスに特殊な機能を持たせることができます。[選択]、[ズーム]、[パン]、[注釈]、[色補正]、[ガンマ] から選択できます。

[選択]

[スコープ] ツールバーで [選択] が有効のとき、画像加工の適用対象を「選択」します。選択した画像は赤の実線で囲まれます。

[ズーム]

ポインタが虫メガネの形に変わります。上にドラッグすると画像が拡大し、下にドラッグすると縮小します。

[パン]

ポインタが手の平の形に変わります。画像がウィンドウからはみ出したときに、画像をドラッグして、見える部分を移動できます。画像全体がウィンドウ内に収まっている場合は、この操作はできません。

[注釈]

注釈ツールの有効／無効を切り替えます。

[色補正]

ポインタが手とランプの形に変わります。上下にドラッグすると明るさが変わり、左右にドラッグするとコントラストが変わります。

[ガンマ]

ポインタが手とグラフの形に変わります。ドラッグすると左下にグラフが現れ、ドラッグに応じてグラフのカーブが変わります。

画像をファイルに保存する

静止画像をファイルに保存することができます。保存形式はビットマップ（.bmp）、TIFF（.tif）、JPEG（.jpg）から選択できます。保存するには３つの方法があります。[編集] メニューからつぎのうちどれかを選択してください。

[画像全体をファイルへコピー]

画像全体をファイルに保存します。

[伸縮なし] ：表示倍率にかかわらず元のサイズの画像をコピーします。

[ズーム倍率で伸縮] ：表示倍率で画像をコピーします。

ポインタが手の形に変わりますので、コピーする画像をクリックしてください。すると、[名前をつけて保存] のダイアログが現れますので、保存場所、ファイル名、種類を指定してください。

[範囲を指定してファイルへコピー]

範囲を指定して画像をファイルに保存します。

ポインタが十字に変わりますので、貼り付ける範囲をドラッグして囲みます。ポインタが手の形になりますので、範囲指定した枠内をクリックします。すると、[名前をつけて保存] のダイアログが現れますので、保存場所、ファイル名、種類を指定してください。

[一括エクスポート]

アクティブなシリーズウィンドウ内で選択している画像（赤の実線で囲まれている画像）すべてを１つずつファイルに保存します。

[伸縮なし] ：表示倍率にかかわらず元のサイズの画像をコピーします。

[ズーム倍率で伸縮] ：表示倍率で画像をコピーします。

コピーしたい画像を「選択」してから [一括エクスポート] を選択すると、[名前をつけて保存] のダイアログが現れます。ファイル名は患者情報、検査情報を元にして自動的につけられます。

画像を印刷する

アクティブな静止画シリーズウィンドウ内の選択した画像、またはすべての画像を印刷することができます。

［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、現れたダイアログで、用紙サイズや余白などを設定します。同じく［ファイル］メニューから［印刷］を選択すると、下のダイアログが現れます。

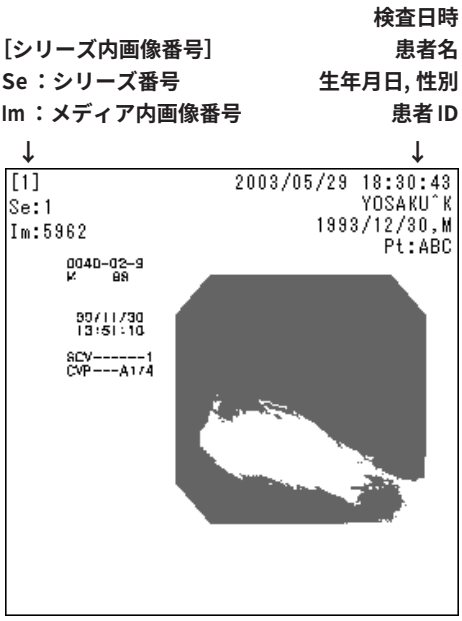
プリンタを選択し、［印刷対象］、［レイアウト］、［ヘッダーとフッター］などを指定して［OK］をクリックしてください。
［ファイル］→［印刷プレビュー］で印刷イメージを確認することができます。

画像情報を隠す

シリーズウィンドウ内の各画像の上部に表示されている情報を隠すことができます。

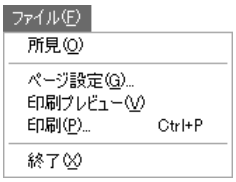
ツールバーのボタンをクリックするたびに表示／非表示が切り替わります。

●この切り替えは、表示しているすべてのシリーズウィンドウに適用されます。



Carna Viewerの各メニュー

［ファイル］メニュー



所見

選択しているシリーズの所見を作成します。すでに所見を作成してある場合は、その所見を開きます。

ページ設定

印刷時の用紙サイズ、余白などを設定します。

印刷プレビュー：印刷イメージを表示します。

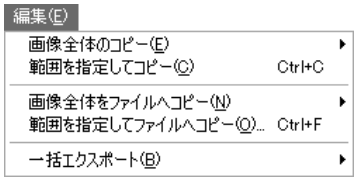
印刷

アクティブなシリーズウィンドウ内の選択した画像、またはすべての画像を印刷します。

終了

起動しているすべてのCarna Viewerを終了します。

［編集］メニュー



画像全体のコピー

画像全体をコピーします。

［伸縮なし］：表示倍率にかかわらず元のサイズの画像をコピーします。

［ズーム倍率で伸縮］：表示倍率で画像をコピーします。

範囲を指定してコピー

範囲を指定して画像をコピーします。

画像全体をファイルへコピー

画像全体をファイルに保存します。

［伸縮なし］：表示倍率にかかわらず元のサイズの画像をファイルに保存します。

［ズーム倍率で伸縮］：表示倍率で画像をファイルに保存します。

範囲を指定してファイルへコピー

範囲を指定して画像をファイルに保存します。

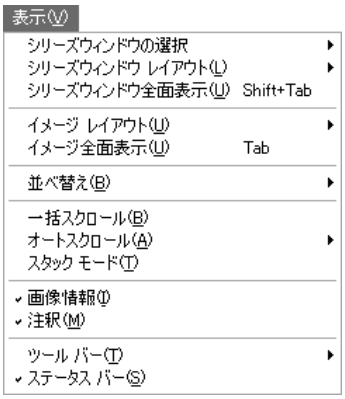
一括エクスポート

アクティブなシリーズウィンドウ内で選択している画像（赤の実線で囲まれている画像）すべてを１つずつファイルに保存します。

［伸縮なし］：表示倍率にかかわらず元のサイズの画像を保存します。

［ズーム倍率で伸縮］：表示倍率で画像を保存します。

［表示］メニュー



シリーズウィンドウの選択
指定したシリーズウィンドウを前面に出します。

シリーズウィンドウレイアウト
複数のシリーズウィンドウを表示するとき、その配置を指定します。

シリーズウィンドウ全面表示
アクティブなシリーズウィンドウをいっぱいに表示します。

イメージレイアウト
アクティブなシリーズウィンドウ内の分割パターンを選択します。

イメージ全面表示
アクティブなシリーズ内の、アクティブな画像をウィンドウいっぱいに表示します。

並べ替え
アクティブなシリーズウィンドウ内の画像を並べ替えます。
［画像(Im)番号］：画像番号（メディア内のとおし番号）順に並べ替えます。
［記録日時］：記録日時の順に並べ替えます。
［降順］：チェックマークをつけると降順に並べ替えます。

一括スクロール
一括スクロールの有効／無効を切り替えます。

オートスクロール
オートスクロールの設定、開始／停止を行います。

スタックモード
スタックモードの有効／無効を切り替えます。

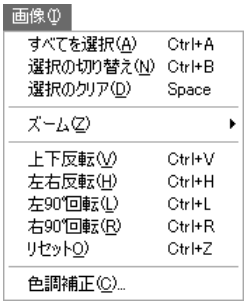
画像情報
画像情報の表示／非表示を切り替えます。

注釈：注釈の表示／非表示を切り替えます。

ツールバー
それぞれのツールバーの表示／非表示を切り替えます。

ステータスバー
ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

［画像］メニュー



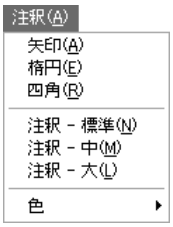
すべてを選択
アクティブなシリーズウィンドウ内のすべての画像を選択します。

選択の切り替え
シリーズウィンドウ内の、選択している画像を選択解除し、選択していない画像を選択します。

選択のクリア
シリーズウィンドウ内で選択しているすべての画像を選択解除します。

ズーム： 画像を拡大／縮小します。
上下反転： 画像の上下を反転します。
左右反転： 画像の左右を反転します。
左90°回転： 画像を左に90°回転します。
右90°回転： 画像を右に90°回転します。
リセット： 反転／回転した画像を元に戻します。
色調補正： 画像の色調を補正します。

[注釈] メニュー



矢印： 矢印を描きます。
楕円： 楕円を描きます。
四角： 四角形を描きます。
注釈ー標準： 標準サイズの文字を追加します。
注釈ー中： 中サイズの文字を追加します。
注釈ー大： 大きいサイズの文字を追加します。
色： 矢印、楕円、四角形、文字の色を選択します。

[モード] メニュー

スコープ：画像のズーム、回転、反転、色調補正の操作の適用範囲を指定します。

選択：マウスで画像を選択できるモードにします。

ズーム：マウスでズームできるモードにします。

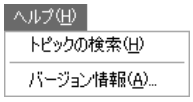
パン：ズームして画像がウィンドウからはみ出したときに、マウスでドラッグできるモードにします。

注釈：注釈を追加するモードにします。

色補正：マウスで明るさ、コントラストを補正できるモードにします。

ガンマ：マウスでガンマ値を補正できるモードにします。

[ヘルプ] メニュー



トピックの検索：ヘルプファイルを表示します。
バージョン情報
Carna Viewerのバージョン情報を表示します。

Carna Viewerのツールバー

[ファイル] ツールバー

起動しているすべてのCarna Viewerを終了します。

所見ファイルを開きます。

[表示] ツールバー

複数のシリーズウィンドウを表示するとき、その配置を選択します。

シリーズウィンドウの分割パターンを選択します。

マウスのホイールで、表示しているすべてのシリーズウィンドウを連動してスクロールします。(動画には無効)

シリーズウィンドウ内の全画像を自動的にスクロールします。もう一度クリックすると止まります。(動画には無効)

シリーズウィンドウの分割が2列以上の場合にウィンドウ内をスクロールするとき、行単位ではなく、画像単位でスクロールします。

シリーズウィンドウ内の画像上部に表示される情報の表示／非表示を切り替えます。

注釈の表示／非表示を切り替えます。

[画像] ツールバー (動画には無効)

画像を拡大します。

画像を縮小します。

伸縮していない、元のサイズで表示します。

ウィンドウいっぱいに表示します。

画像の上下を反転します。

画像の左右を反転します。

画像を左に90°回転します。

画像を右に90°回転します。

反転、回転した画像を元に戻します。

[注釈] ツールバー (動画には無効)

矢印を描きます。

楕円を描きます。

四角形を描きます。

それぞれの大きさの文字を追加します。

矢印、楕円、四角形、文字の色を選択します。

所見テンプレート

所見テンプレートファイルを編集することにより、所見の書式を変更することができます。

VIEWFILE Carna が所見テンプレートとして使うのは、Microsoft Word の文書テンプレートファイル（拡張子：dot）で、［Report01.dot］というファイルです。

このファイルを編集するか、または、別の文書テンプレートファイルでこの［Report01.dot］ファイルを上書きすることにより、所見の書式を変更することができます。

この所見テンプレートファイルは、VIEWFILE Carna のインストールフォルダ（通常は C:\Program Files\TEAC\VIEWFILE\Carna）の中の［Templates］フォルダにあります。

このフォルダには、下記の６つの所見テンプレートファイルを用意してあります。

Report01.dot
VIEWFILE Carna で所見を作成する際に使うテンプレートファイルです。

Report02.dot
サンプルテンプレートファイルです。画像を横３列に並べることができます。

Report03.dot
サンプルテンプレートファイルです。画像を横４列に並べることができます。

Org01.dot、Org02.dot、Org03.dot
それぞれ、Report0x.dot のバックアップファイルで、内容は全く同じです。

既存のテンプレートを編集する

［Report01.dot］ファイルを編集します。

1. ［Report01.dot］ファイルのアイコンを右クリックし、現れたメニューから［開く］を選択します。Microsoft Word が起動し、テンプレートファイルが開かれます。

2. 開かれたファイルを編集し、［上書き］で保存します。
   以後はこのファイルが所見テンプレートとして使われます。

●所見テンプレートに設定されている「文書変数」を削除しないでください。文書変数は VIEWFILE Carna が患者情報、検査情報を文書内に埋め込むために必要です。文書変数を削除すると、所見に患者情報、検査情報を埋め込めなくなります。

別のファイルをテンプレートにする

Microsoft Word の文書テンプレートファイル（.dot）であれば、どのようなファイルでも VIEWFILE Carna の所見テンプレートファイルにすることができます。

ただし、VIEWFILE Carna から検査情報、患者情報を受け取るためには、「文書変数」をテンプレートファイル内に埋め込む必要があります。（☞ 次ページ）

使用したいテンプレートファイルで［Report01.dot］ファイルを上書きしてください。以後はそのファイルが所見テンプレートとして使われます。

［Report01.dot］は、VIEWFILE Carna のインストールフォルダ（通常は C:\Program Files\TEAC\VIEWFILE\Carna）の中の［Templates］フォルダにあります。

文書変数

VIEWFILE Carna から所見テンプレートに検査情報、患者情報を受け取るためには、以下の文書変数をテンプレートファイル内に埋め込む必要があります。不要な検査情報、患者情報には文書変数はなくてもかまいません。

所見テンプレートファイルの文書変数は、日本語（全角、カタカナも全角）と、英数字（半角）とで構成されます。

文書変数名	説 明
施設名	施設（病院）名
検査日	検査開始日付
検査 ID	検査 ID
モダリティ	モダリティ
患者 ID	患者 ID
患者名	患者名
性別	患者性別
生年月日	患者生年月日
部位 1	1 つのシリーズに最大 5 つの検査部位を追加することができます。
部位 2	〃
部位 3	〃
部位 4	〃
部位 5	〃
診断名 1	1 つのシリーズに最大 5 つの診断名を追加することができます。
診断名 2	〃
診断名 3	〃
診断名 4	〃
診断名 5	〃

● Microsoft Word への文書変数の挿入方法については Microsoft Word のマニュアル、オンラインヘルプなどを参照してください。

診断名定義ファイル

診断名定義ファイルとは

［検査情報変更］ダイアログの［モダリティ］、［検査部位］、［診断名］のドロップダウンリストに表示される項目は、「診断名定義ファイル」で定義されています。このファイルを編集することにより、リストの項目を変更することができます。

このファイルは、VIEWFILE Carnaのインストールフォルダ（通常はC:\Program Files\TEAC\VIEWFILE\Carna）に「DiagnosisNames.ini」というファイル名で保存されています。テキストファイルですので、「メモ帳」などのテキストエディタで編集することができます。

診断名定義ファイルの書式

診断名定義ファイルは、「セクション」と「内容」とからなります。「セクション」は、括弧［］で囲まれた項目名を示し、「内容」は「セクション」内の項目リストを示します。

「モダリティ－検査部位－診断名」は、モダリティをルートとしたツリー構造になっており、各モダリティに対してそれぞれ検査部位が、さらに、各検査部位に対してそれぞれ診断名がリンクします。

診断名定義ファイルの例

```
［MODALITY］                ← セクション開始（モダリティ）
Modality_01=内視鏡          ← モダリティ1
Modality_02=超音波          ← モダリティ2

［BODYPART_01］             ← セクション開始（モダリティ1に対する検査部位）
BodyPart_01=食道            ← 検査部位1
BodyPart_02=胃              ← 検査部位2

［BODYPART_02］             ← セクション開始（モダリティ2に対する検査部位）
BodyPart_01=肝臓            ← 検査部位1
BodyPart_02=脾臓            ← 検査部位2

［DIAGNOSIS_01_01］         ← セクション開始（モダリティ1／検査部位1に対する診断名）
Diagnosis_01=異常なし       ← 診断名1
Diagnosis_02=表在型食道癌   ← 診断名2

［DIAGNOSIS_01_02］         ← セクション開始（モダリティ1／検査部位2に対する診断名）
Diagnosis_01=異常なし       ← 診断名1
Diagnosis_02=胃ポリープ     ← 診断名2
```

［MODALITY］セクション

［MODALITY］セクションにはモダリティを記述します。

Modality_01 から Modality_99 まで連番でモダリティを記述することができます。

［BODYPART］セクション

［BODYPART］セクションには検査部位を記述します。

［BODYPART_01］から［BODYPART_nn］（nn：モダリティ数）まで連番で検査部位を記述することができます。

［BODYPART_01］セクションには、［MODALITY］セクションで Modality_01 として記述したモダリティに対応する検査部位を列挙します。

同様に、［BODYPART_02］セクションには、［MODALITY］セクションで Modality_02 として記述したモダリティに対応する検査部位を列挙します。

１つのモダリティに対して複数の検査部位が存在します。したがって、１つの［BODYPART_xx］セクションには、BodyPart_01 から BodyPart_99 まで連番で検査部位を指定することができます。

［DIAGNOSIS］セクション

［DIAGNOSIS］セクションには診断名を記述します。

［DIAGNOSIS_01_01］から［DIAGNOSIS_mm_nn］（mm：モダリティ数、nn：検査部位数）まで連番で診断名を記述することができます。

［DIAGNOSIS_01_01］セクションには、［BODYPART_01］セクションで BodyPart_01 として記述した検査部位に対応する診断名を列挙します。

同様に、［DIAGNOSIS_01_02］セクションには、［BODYPART_01］セクションで BodyPart_02 として記述した検査部位に対応する診断名を列挙します。

診断名定義ファイルを編集する

1. Carna Viewer が起動している場合は終了します。

2. 「メモ帳」などのテキストエディタで診断名定義ファイル「DiagnosisNames.ini」を開きます。

3. 「DiagnosisNames.ini」ファイルを編集する前に、別のファイル名で保存しておきます。

4. 「DiagnosisNames.ini」ファイル（ファイル名を変更してないファイル）を編集します。

5. 編集後に［上書き］で保存します。

   以後、Carna Viewer で［検査情報変更］ダイアログを開くと、［モダリティ］、［検査部位］、［診断名］のドロップダウンリストに、今編集した内容が反映されています。

Carna Serverの設定

Carna Serverの設定変更は、Carna Serverと同じPCにインストールされるCarna Consoleで行います。

■ 設定変更のしかた

設定変更は、以下の手順でCarna Serverを一時的に停止して行います。

1. Windowsの［スタート］メニューから［(すべての）プログラム］→［VIEWFILE］→［Carna Console］の順にクリックしてCarna Consoleを起動します。

2. ［サービス］メニューから［VIEWFILE Carnaの停止］を選択するか、ツールバーの■ボタンをクリックしてCarna Serverを停止します。

   左下の［現在のサービス状態］がRUNNING（実行中）からSTOPPED（停止）に変わります。

3. ［登録］、［データベース］、［通信］、［詳細］の各ボタンをクリックし、それぞれのダイアログで設定を変更します。

4. ［サービス］メニューから［VIEWFILE Carnaの起動］を選択するか、ツールバーの▶ボタンをクリックしてCarna Serverをふたたび起動します。

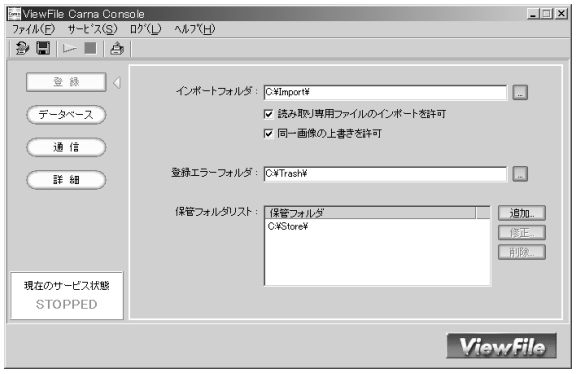
   左下の［現在のサービス状態］がSTOPPEDからRUNNINGに戻ります。

5. ウィンドウ右上の［×］ボタンをクリックするか、［ファイル］メニューから［終了］を選択してCarna Consoleを終了します。

   Carna Consoleを終了しても、Carna Serverは終了しません。Carna ServerはNTサービスプログラムですので、PCの起動時から終了時まで動作を継続します。

設定項目の詳細

■ 登録



検査画像の登録に関する設定をします。

インポートフォルダ

Carnaに登録する検査画像を取り込むフォルダを指定します。このフォルダに取り込まれた画像ファイルは自動的にCarnaに登録され、その後このフォルダから削除されます。

読み取り専用ファイルのインポートを許可

読み取り専用に設定された画像ファイルのインポートを許可するか否かを決めます。チェックすると、インポートを許可します。チェックしないでおくと、読み取り専用の画像は登録エラーフォルダに入れられます。

同一画像の上書きを許可

インポートした画像と同じファイル名の画像がすでにデータベースに登録済みであった場合に、そのインポートした画像で登録済みの画像を置き換えるか否かを決めます。チェックすると、置き換えを許可します。チェックしないでおくと、同じファイル名の画像は登録エラーフォルダに入れられます。

登録エラーフォルダ

インポートフォルダに取り込まれた検査画像をCarnaに登録する際にエラーが発生すると、そのファイルは登録エラーフォルダに移されます。

保管フォルダリスト

検査画像を保管するフォルダを指定します。十分な容量を確保するために複数のフォルダを指定することができます。複数のフォルダを指定した場合は、リストの上から順に使用されます。使用中のフォルダの残量が100 MB未満になると、次のフォルダを使用します。

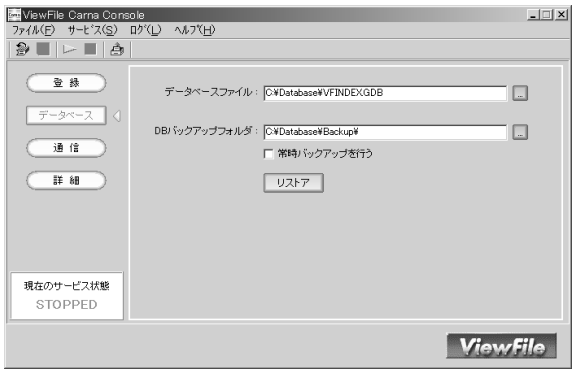
フォルダを追加するには、右の［追加］ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。

追加したフォルダは共有フォルダに設定してください。共有名は任意の名前でかまいません。（インストール時に指定した保管フォルダは自動的に共有フォルダになります。）フォルダの共有のしかたについてはWindowsのヘルプなどを参照してください。

指定したフォルダを修正するには、リストから修正したいフォルダを選択し、［修正］ボタンをクリックして指定し直してください。

フォルダを削除するには、削除したいフォルダを選択し、［削除］ボタンをクリックしてください。

■ データベース



データベースのバックアップに関する設定をします。

データベースファイル

VIEWFILE Carnaのデータベースファイル名を指定します。

DBバックアップフォルダ

データベースファイルのバックアップ先フォルダを指定します。

常時バックアップを行う

このチェックボックスをチェックすると、後述する［詳細］の［ジョブ実行間隔］で設定する間隔でバックアップを行います。チェックしないでおくと、毎日午前0時にバックアップします。

リストア

バックアップ済みのデータベースファイルをリストアします。データベースが破損したときだけ使います。通常は実行しないでください。

■ 通信

Carna Clientからの接続許可に関する設定をします。

ユーザ名

保管フォルダにアクセスする際のWindowsユーザ名を入力します。

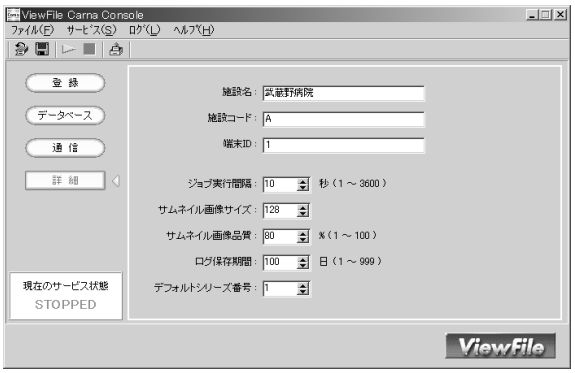
パスワード

保管フォルダにアクセスする際のWindowsパスワードを入力します。

クライアント通信ポート

Carna Clientからの検索要求を受け付ける通信ポートを指定します。初期設定の「25500」を他のソフトウェアがすでに使っている場合は、いずれのソフトウェアも使っていない他のポートを指定してください。それ以外の場合は、特に必要がない限り変更しないでください。

■ 詳細



その他の設定を行います。

施設名

施設名（病院名）を入力します。ここに入力する施設名は、所見作成時に埋め込まれます。

施設コード

VIEWFILE Carnaが施設を識別するためのコードで、ソフトが内部的に使用するものです。任意のコードを半角英数字で指定してください。このコードは保管フォルダ名に追加されますので、できるだけ短くしてください。

端末ID

VIEWFILE CarnaがPC端末を識別するためのIDで、ソフトが内部的に使用するものです。任意の文字を半角英数字で指定してください。このIDは保管フォルダ名に追加されますので、できるだけ短くしてください。

ジョブ実行間隔

インポートフォルダから保管フォルダに検査画像を取り込む間隔を指定します。前述の［データベース］で［常時バックアップを行う］をチェックした場合は、ここで設定する間隔でバックアップを行います。

サムネイル画像サイズ

サムネイル画像のピクセル数を指定します。値が大きいほど、Carna Clientで表示するサムネイル画像の品質が高くなります。64～9999の範囲で設定できます。

サムネイル画像品質

サムネイル画像の圧縮率を設定します。値が大きいほど、Carna Clientで表示するサムネイル画像の品質が高くなります。

ログ保存期間

ログの保存期間を設定します。ログにはCarna Serverの起動、終了、エラーの履歴を記録しています。

ログを見るには、［ログ］メニューから［ログメッセージ表示］を選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

デフォルトシリーズ番号

インポートした画像ファイルにシリーズ番号が記録されていない場合に代用するシリーズ番号を設定します。

Carna Browserの設定

Carna Browserの設定を変更するには［ファイル］メニューから［環境設定］を選択します。
環境設定ダイアログには［通信］と［検索］の２つのタブがあります。それぞれのタブで設定し、最後に［OK］をクリックしてください。

■［通信］タブの設定

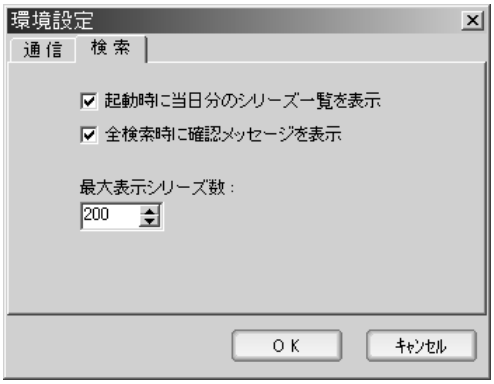
ホスト名 / IPアドレス

Carna Serverを起動しているPCのホスト名を指定します。ホスト名には、TCP/IPホスト名、Windowsコンピュータ名、IPアドレスのどれでも使えます。
Carna ServerとCarna Clientとを同一のPCにインストールする場合は、「localhost」と入力してください。

サーバ通信ポート

Carna Serverと通信するためのポート番号を指定します。Carna Consoleで設定した「クライアント通信ポート」と同じ番号を指定してください。
特に必要がない限り変更しないでください。

■［検索］タブの設定



起動時に当日分のシリーズ一覧を表示

チェックしてあると、Carna Browserの起動時に、その日に検査したシリーズをすべて表示します。
チェックしてないと、何も表示しません。

全検索時に確認メッセージを表示

チェックしてあると、検索条件を何も指定しないで［検索］ボタンをクリックした時に確認のメッセージを表示します。

最大表示シリーズ数

検索の結果 表示する検査カードの最大件数を設定します。2000件まで設定できます。検索条件に合致した検査カードがこの数よりも多いと、検索を中止します。

こんなときには

● Carna Browser起動時につぎのようなメッセージが表示された。

GetSettingValue Error: Serverから各設定値の取得に失敗しました。
Can not open socket (Client)

この場合はつぎのことを確認してください。

□ Carna Serverが起動していますか？
□ Carna Browserの［ファイル］→［環境設定］→［通信］タブで、ホスト名／IPアドレス、サーバ通信ポートの設定は正しいですか？（前ページ）

● Carna Browserのサムネイルウィンドウに［ERROR　NOT FOUND］と表示された。

この場合はつぎのことを確認してください。

□ Carna Serverの保管フォルダは共有に設定してありますか？
□ Carna Serverの保管フォルダにアクセスする際のユーザ名、パスワードは正しいですか？
Carna Consoleの［通信］ダイアログで、ユーザ名、パスワードの設定を確認し、そのユーザ名、パスワードを入力してください。（☞ p. 46）

● Carna Browserウィンドウ下端のドライブ使用率バーが赤くなった。

Carna Serverの保管フォルダの空き容量が少なくなりました。ハードディスクを増設し、保管フォルダを追加してください。（☞ p. 45）

ティアック株式会社

製品に関するお問い合わせは･･･　〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
TEL 0422-52-5010　FAX 0422-52-1390

使いかたに関するお問い合わせは･･･　TEL 0422-52-5095　FAX 0422-53-9823
受付時間　9:30～12:00／13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

TEAC情報機器関連ホームページ　http://www.teac.co.jp/ipd/
E-mail　ipd-mv@ho.teac.co.jp